

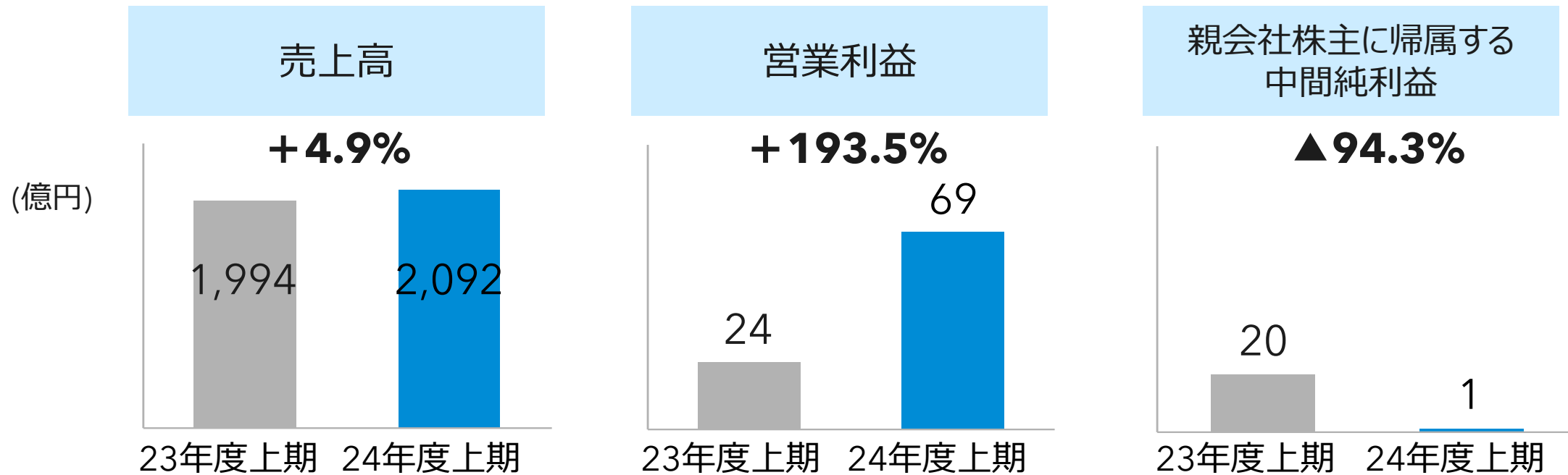
2024.11.7

2024年度 第2四半期 決算説明

東洋紡株式会社

第2四半期（中間期）実績

ライフサイエンスが減益も、工業用フィルム、環境・機能材、機能繊維の収益改善で、営業利益は増益。中間純利益は、為替影響、固定資産処分損等により、1 億円に留まる



2025年3月期 通期予想

包装用フィルム、ライフサイエンスの収益改善に加え、電子材料の数量増加と、交易条件改善、コスト削減により、営業利益 170 億円、当期純利益 26 億円の予想を据え置く

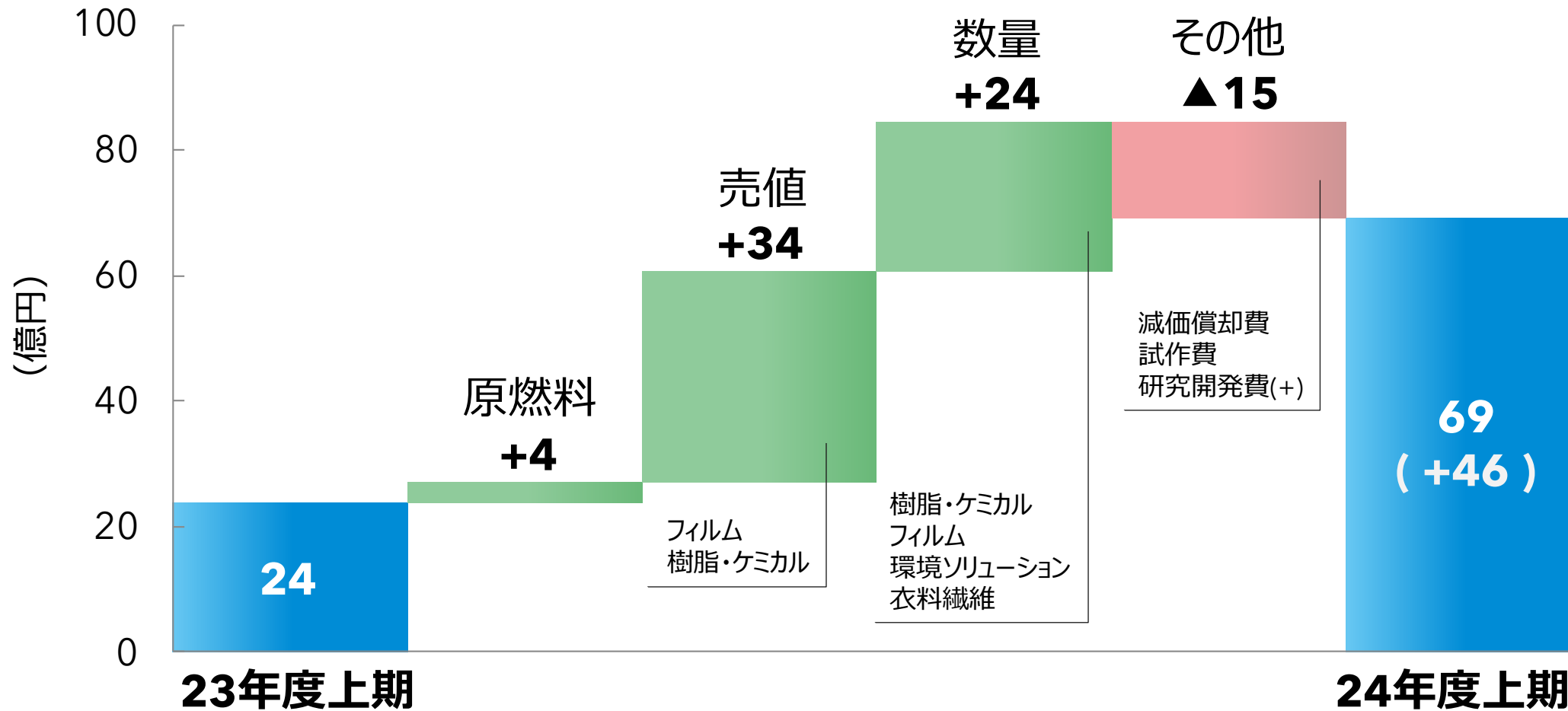
決算サマリー | PL

TOYOBO

(億円)

	23年度		24年度	増減	
	上期	下期	上期	金額	率
売上高	1,994	2,148	2,092	+97	+4.9%
売上総利益	418	462	473	+55	+13.2%
営業利益	24	66	69	+46	+193.5%
(率)	1.2%	3.1%	3.3%	-	-
経常利益	10	59	32	+21	+206.5%
特別損益	20	▲ 34	▲ 9	▲ 29	-
親会社株主に帰属する中間純利益	20	4	1	▲ 19	▲ 94.3%
EBITDA* <small>* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)</small>	118	170	181	+64	+54.0%
EPS (円)	22.8	5.0	1.3	-	-
ROE* <small>*24年度上期は年換算ベース。 (中間純利益×2)÷期首・期末平均自己資本</small>	1.3%		0.1%	-	-
営業CF	101	115	171	+70	+69.6%
減価償却費	94	104	112	+18	+19.0%
設備投資	300	316	250	▲ 50	▲ 16.6%
研究開発費	77	76	72	▲ 5	▲ 6.4%

営業利益の増減要因



	22年度		23年度				24年度	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
為替レート (円/US\$)	141	132	137	145	148	149	156	148
国産ナフサ (千円/kl)	72	67	67	64	73	73	79	77

	(B)		(A)	(億円)
	23/3末	24/3末	24/9末	増減 (A)-(B)
総資産	5,889	6,070	6,032	▲ 38
現預金	607	338	284	▲ 54
棚卸資産	1,219	1,220	1,200	▲ 20
有形固定資産	2,402	2,815	2,919	+104
純資産	2,214	2,301	2,289	▲ 12
自己資本	1,896	1,970	1,932	▲ 38
うち利益剰余金	705	703	670	▲ 34
非支配株主持分	318	331	357	+26
有利子負債	2,294	2,492	2,566	+74
D/E レシオ	1.21	1.26	1.33	-
D/E レシオ (資本性調整後) ^{*1}	-	-	1.11	-
Net Debt / EBITDA倍率 ^{*2}	5.8	7.5	6.3	-

*1 劣後ローンおよび劣後債資本性調整後のD/Eレシオ

*2 (有利子負債 - 現預金) <期末> / EBITDA <年換算>

決算サマリー | セグメント別

TOYOBO

	売上高			営業利益				
	23年度		24年度	23年度		24年度	増減 (A)-(B)	
	上期	下期	上期	上期	下期	上期		
フィルム	781	785	828	14	13	30	+16	
ライフサイエンス	166	180	172	24	20	9	▲ 15	
環境・機能材	525	628	552	4	43	34	+30	
機能繊維・商事	457	500	479	▲ 9	▲ 2	1	+10	
不動産・その他	66	56	60	14	16	12	▲ 2	
消去・全社	-	-	-	▲ 24	▲ 24	▲ 16	+7	
合計	1,994	2,148	2,092	24	66	69	+46	

(B)

(A)

(億円)

(億円)

	23年度			24年度			増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	390	391	781	421	407	828	+48	+6.1%
営業利益	12	2	14	15	15	30	+16	+110.4%
(率)	3.2%	0.5%	1.8%	3.6%	3.7%	3.6%	-	-

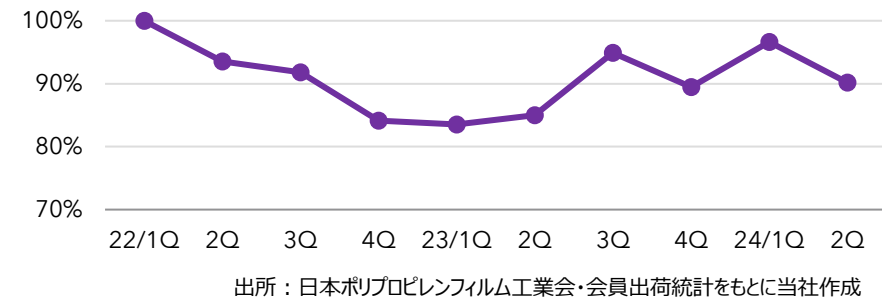
包装用フィルム

- 収益性改善に遅れ。製品価格の改定は進むも、新製品開発費用などコスト上昇影響あり

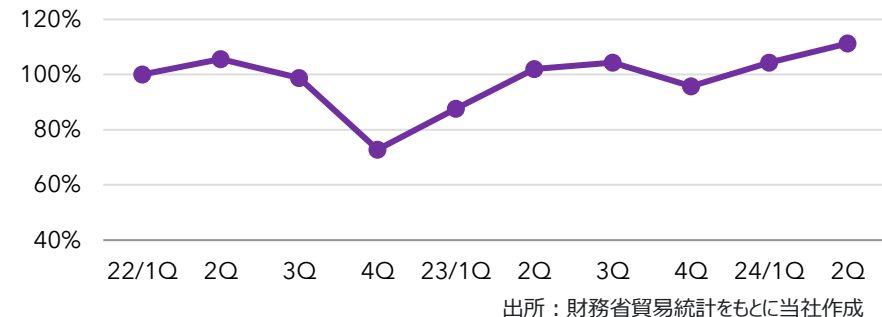
工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルムは堅調に推移
- セラミックコンデンサ用離型フィルムは、数量増加も、用途によりバラツキあり

食品包装用OPPフィルム国内市場 出荷実績 (22/1Q:100%)



日本からのMLCC輸出実績 (22/1Q:100%)



(億円)

	23年度			24年度			増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	81	84	166	81	91	172	+6	+3.9%
営業利益	14	10	24	4	5	9	▲ 15	▲ 62.2%
(率)	16.6%	12.4%	14.5%	4.6%	5.8%	5.3%	-	-

バイオ

- 診断薬用原料酵素は国内外ともに堅調に推移。生産能力増強に伴う費用が増加

メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜は堅調に推移。製造コスト上昇に加え、新工場の立上げ費用が増加

医薬

- 米国FDAからの Warning Letter 解除（2023年7月）を受け、収益性改善

(億円)

	23年度			24年度			増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	250	276	525	281	272	552	+27	+5.1%
営業利益	▲ 7	10	4	13	21	34	+30	+806.9%
(率)	-	3.7%	0.7%	4.5%	7.7%	6.1%	-	-

樹脂・ケミカル

- エンジニアリングプラスチックは、北中米向け自動車用途の販売が拡大
- 光機能材料（感光性樹脂版）は、中国向けを中心に販売堅調

環境・ファイバー

- 環境ソリューションは、LIBS*1製造工程で使用されるVOC回収装置の販売が増加。
リチウムを濃縮回収するためのBC*2膜装置の販売が寄与
- 高機能ファイバーは、海外需要を着実に取り込み、堅調に推移

*1 リチウムイオン電池セパレータ

*2 Brine Concentration

(億円)

	23年度			24年度			増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	222	235	457	240	239	479	+23	+5.0%
営業利益	▲ 7	▲ 1	▲ 9	2	▲ 1	1	+10	-
(率)	-	-	-	0.8%	-	0.2%	-	-

衣料繊維

- 中東向け特化生地は、強い需要に牽引され販売が増加。加えて、為替影響により輸出採算が好転
- 国内生産拠点の集約などの構造改革により、収益性改善

エアバッグ用基布

- 製品価格の改定が進み、収益性改善

セグメント	アクション（2024年5月時点での計画）	進捗*
フィルム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 包装用フィルムの収益性改善と工業用フィルムの更なる拡大 <ul style="list-style-type: none"> • 包装用フィルム：一層の価格改定。新機台・新製品の本格立上げ、生産体制見直し • セラコン用離型フィルム：市況回復に合わせ、顧客の増産体制に対応。新機台立上げ • 液晶偏光子保護フィルム：顧客の増産体制に対応 	▲ ○ ○
ライフサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新ラインの確実な立上げと成長策実行 <ul style="list-style-type: none"> • バイオ：生化学診断薬用原料酵素拡販。リニューアル増産設備立上げ • メディカル：人工腎臓用中空糸膜の一貫生産工場立上げ 急性血液浄化膜、プロセス膜、バイオマテリアルへの展開 • 医薬品製造受託：GMP体制維持。新規受注 	○ ▲ ○ ○
環境・機能材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東洋紡エムシー（株）：成長策の成果実現、不織布マテリアルの収益性改善 <ul style="list-style-type: none"> • 環境ソリューション：LIBS向けVOC回収装置の海外販売拡大。FO・BC膜の新規案件獲得 • 工業用接着剤：環境対応型拡販、海外拡販、新ライン立上げ • エンジニアリングプラスチック：品質保証体制の確立。数量拡大と一層の価格改定 • 不織布マテリアル：国内生産体制の見直し、外部生産委託の拡大、開発品の強化・推進 	○ ▲ ○ ○
機能繊維・商事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 要改善事業の対策実行 <ul style="list-style-type: none"> • エアバッグ用基布：収益改善のロードマップ実行 • 衣料繊維：資産効率改善の追求 	○ ○

* ○：計画通り、▲：遅れ

2024年度の事業環境見通し

セグメント	事業	前回見通し (2024年8月時点)	今回見通し	
			対前回*	前回見通しとの差異
フィルム	包装用	在庫調整を終え、緩やかに回復へ	－	在庫調整終え、緩やかに回復へ
	工業用	液晶偏光子保護フィルムは前年度並みの需要	－	需要堅調
		MLCCは年度後半から需要回復	▲	年度を通じて徐々に拡大
ライフサイエンス	バイオ	生化学診断薬用酵素は需要堅調	－	需要は堅調
	メディカル	人工腎臓用中空糸膜は堅調に推移	－	需要は堅調
環境・機能材	樹脂・ケミカル	自動車用途は海外中心に堅調に推移	－	アジア向けで減速感あり。北中米向けは堅調
		電子材料用途の需要回復	－	需要回復
	環境・ファイバー	VOC回収装置の需要堅調	▲	EV化減速の影響
		不織布マテリアルの厳しい競争環境は継続	－	厳しい競争環境は継続
機能繊維・商事	エアバッグ	自動車生産は堅調に推移	－	アジア向けで減速感あり。北米向けは堅調
共通		国産ナフサ価格が上昇（製品価格の改定で対応）	－	国産ナフサ価格は高止まり（製品価格の改定で対応）

* 前回見通しに対し、○：改善・拡大、－：想定通り、▲：悪化・減少 12

2024年度 業績見通し

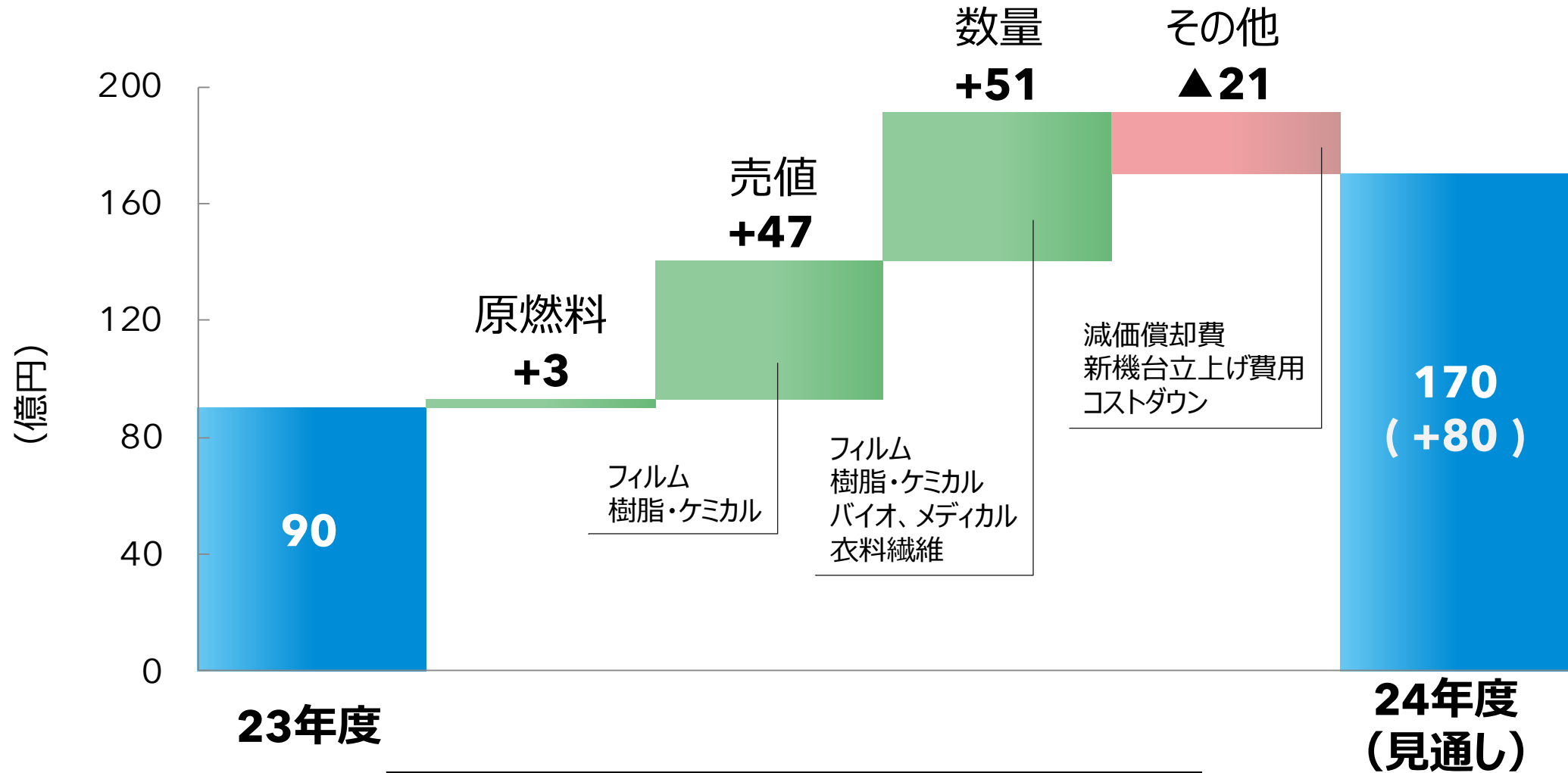
包装用フィルム、ライフサイエンスの収益改善に加え、電子材料の数量増加と、交易条件改善、コスト削減により、営業利益 170 億円、当期純利益 26 億円の予想を据え置く

(億円)

	23年度	24年度			増減		直近予想 (24/8)
	実績	上期	下期	見通し	金額	率	
売上高	4,143	2,092	2,258	4,350	+207	+5.0%	4,350
営業利益	90	69	101	170	+80	+89.0%	170
(率)	2.2%	3.3%	4.5%	3.9%	-	-	3.9%
経常利益	70	32	83	115	+45	+65.2%	115
特別損益	▲ 14	▲ 9	▲ 31	▲ 40	▲ 26	-	▲ 36
親会社株主に帰属する当期純利益	25	1	25	26	+1	+5.9%	26
EBITDA	288	181	222	403	+115	+39.9%	405
EPS (円)	27.9	1.3	28.2	29.5	-	-	29.5
減価償却費	198	112	121	233	+35	+17.6%	235
設備投資	616	250	230	480	▲ 136	▲ 22.0%	500
研究開発費	153	72	78	150	▲ 3	▲ 2.0%	160

■ 設備投資 セラコン用離型フィルム新機台、バイオ工場リニューアル、重合設備更新

営業利益の増減要因



	23年度	24年度	直近予想 (24/8)
為替レート (円/US\$)	145	150	152
国産ナフサ (千円/kl)	69	75	75

セグメント別見通し

TOYOBO

(億円)

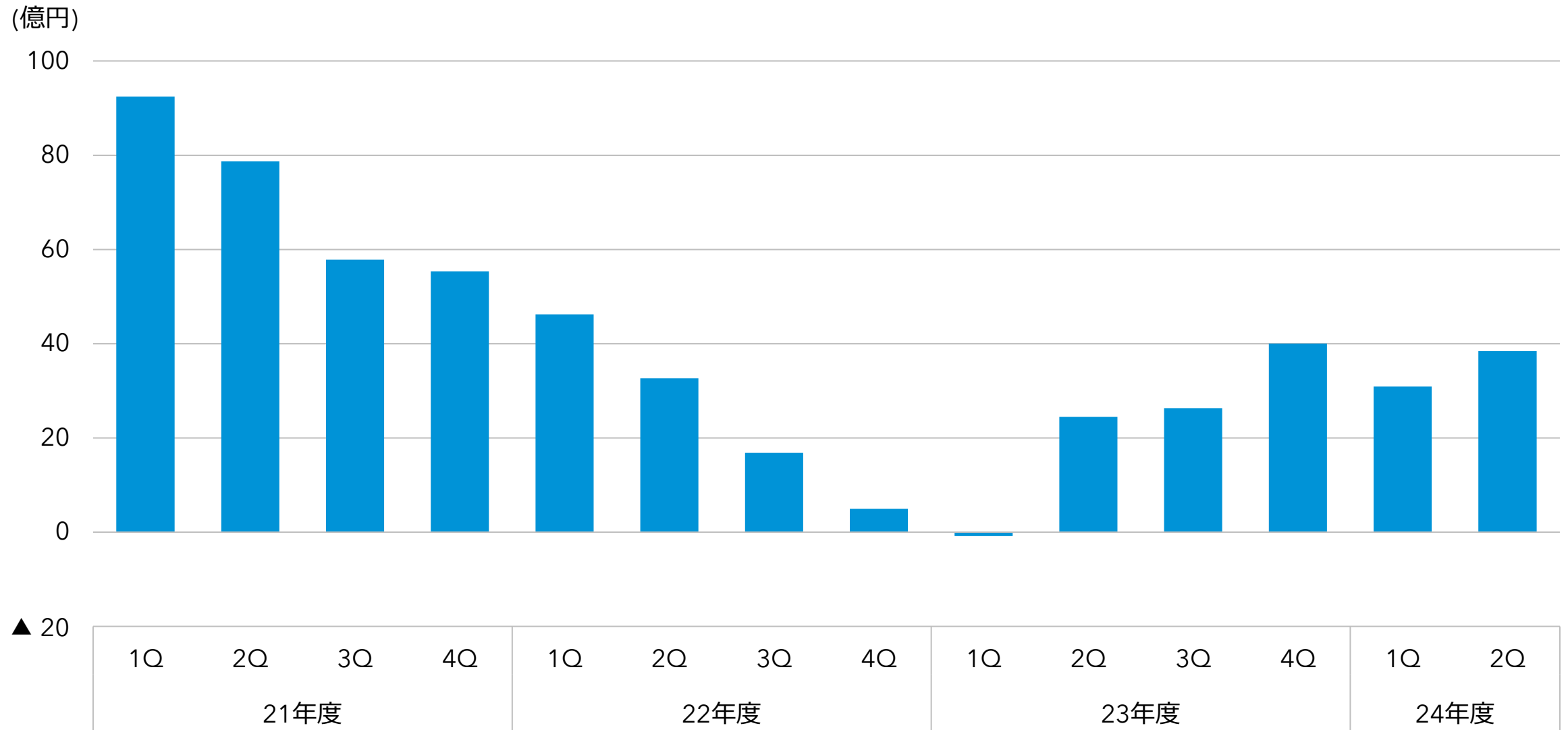
	売上高		営業利益			直近予想 (24/8)
	23年度 実績	24年度 見通し	23年度 実績	24年度 見通し	増減	
フィルム	1,565	1,700	27	65	+38	73
ライフサイエンス	346	380	44	32	▲12	37
環境・機能材	1,153	1,150	47	80	+33	80
機能繊維・商事	957	1,000	▲10	5	+15	0
不動産・その他	122	120	30	25	▲5	25
消去・全社	-	-	▲48	▲ 37	+11	▲45
合計	4,143	4,350	90	170	+80	170

未来をつくるために稼ぐ力を取り戻す

項目	進捗	評価*
1. 安全・防災、品質、コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・重大インシデントゼロ ・エンジニアリングプラスチックのISO9001認証再取得 	○
2. 価値に見合ったプライシングの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・原燃料価格影響に対し、売値転嫁率 89% (2021～2024年度累計 原燃料▲289億円、売値+257億円) 	○
3. 要改善事業（低収益・赤字セグメント）対策	<ul style="list-style-type: none"> ・包装用フィルム：収益性改善に遅れ ・不織布マテリアル：国内生産体制見直し、子会社株式譲渡 ・エアバッグ用基布、医薬品製造受託：ロードマップに従い収益性改善 ・衣料繊維：2024年度上期黒字化 	▲ ○ ○ ○
4. 成長投資の確実な回収	<ul style="list-style-type: none"> ・OPPフィルム：超高剛性フィルム立上げ遅れ（モノマテリアル） ・セラコン用離型フィルム：新設備が完成 2025年春頃より商業生産開始 ・バイオ：計画通り立上げ、本格寄与開始 ・メディカル：試作開始、販売寄与遅れ 	▲ ○ ○ ▲
5. 投資、経費の絞り込み、コストダウン	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資計画（見直し後）に沿って、着実に実行 ・短期収益改善に向けたコスト削減、販管費節減 	○ ○

補足

四半期別営業利益推移



セグメント別情報

TOYOBO

(億円)

売上高	23 年度					24 年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
フィルム	390	391	393	391	1,565	421	407
ライフサイエンス	81	84	87	93	346	81	91
環境・機能材	250	276	336	292	1,153	281	272
機能繊維・商事	222	235	232	268	957	240	239
不動産・その他	28	38	30	26	122	29	31
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-
合計	971	1,024	1,079	1,069	4,143	1,052	1,040

営業利益	23 年度					24 年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
フィルム	12	2	1	12	27	15	15
ライフサイエンス	14	10	11	10	44	4	5
環境・機能材	▲ 7	10	26	17	47	13	21
機能繊維・商事	▲ 7	▲ 1	▲ 7	5	▲ 10	2	▲ 1
不動産・その他	4	10	7	9	30	5	7
消去・全社	▲ 17	▲ 7	▲ 12	▲ 12	▲ 48	▲ 7	▲ 9
合計	▲ 1	24	26	40	90	31	38

セラコン用離型フィルムの新製造設備 完成

- 所在地： 宇都宮工場
- 投資金額： 約 200 億円
- 生産能力： 約 2 万t/年
- 商業生産開始： 2025年春予定
- 市場： 成長率 **7%**/年以上
- グローバルシェア： **約 25%**（当社推定）
- 特長： インラインコートとオフラインコートの両方の生産方式で、ミドル～ハイエンドの幅広いセラコンに対応
- 今後： AIサーバーなど、高性能IT機器向けで需要が増加するセラコン向けに拡販



新製造設備 外観

生化学診断薬用原料酵素の製造設備 増設

- 所在地： 敦賀バイオ工場（敦賀事業所内）
- 投資金額： 約 70 億円
- 生産能力： 従来の約 **1.5倍**
- 稼働時期： 2024年4月より稼働開始

- グローバルシェア： **約 25%**（当社推定） 2位
- 海外売上高比率： 約 70%
- 今後： 新興国を中心とした海外展開を拡大



生化学診断薬用原料酵素

血糖（糖尿病）、コレステロール（動脈硬化）、
クレアチニン（腎機能）、GOT/GPT（肝機能）など



敦賀バイオ工場 培養・精製新棟 外観

高機能ファイバーの浮体式洋上風力発電用係留索への展開

- “イザナス” 超高強力ポリエチレン繊維
- 特性： 高強度、高弾性率、軽量、高耐水性

国内初の実海域における洋上風力発電用 TLP 型浮体*1の実証実験に参画
～新開発の「イザナス」 ULC*2」が日本海事協会の承認初取得～

- *1. 浮体式洋上風力発電施設の浮体構造・係留方式の一つ（TLP：テンション・レグ・プラットフォーム）
特長：浮体の動揺安定性や発電効率が高い、海域の占有面積が小さい（漁業への影響が少ない）
- *2. “イザナス”の製糸工程を改良し、従来の特性を維持しながら、耐クリープ性を実現



“イザナス” ULC



(画像：大林組提供)

BC膜（Brine Concentration）装置の拡販

- 中空糸型CTA膜（当社独自技術）を使用
- 用途： 製塩、排水処理
有価物回収（リチウムの濃縮回収用途に採用）
- メリット： 蒸発法や他の膜濃縮法に対し、エネルギー消費量が低い



東洋紡グループ統合報告書「TOYOBO REPORT 2024」を公開

主な内容

- CEOメッセージ
- 長期ビジョン「サステナブル・ビジョン2030」、「2025中期経営計画（2022～2025年度）」
- 価値創造プロセス、東洋紡の強み、諸資本とビジネスモデル
- 人材戦略、イノベーション戦略、グリーン戦略、事業戦略
- 社外取締役座談会 など

ダウンロードURL

日本語版：<https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir/library/integrated.html>

英語版：<https://ir.toyobo.co.jp/en/ir/library/integrated.html>



本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

TOYOBO
Beyond Horizons